

# 令和5年度 第5回大木中学校運営協議会 記録概要

令和5年12月12日（火）18時00分～

大木中学校・会議室1

## 【出席委員】

中嶋範生（委員長） 藤井さゆり（副委員長） 吉田四郎 小林綾子  
杉本五月 藤田恭江 堀部亜矢 山中泰成 太田寛 樋口比呂磨  
神原由明（校長）

## 【事務局】

大野ひさ子（地域コーディネーター） 伊藤佳代子（教頭）  
秋山直輝（教務） 粉川昌大（研修） 山田啓義（生徒指導）  
CS推進コーディネーター（加藤稔明）

## 1 あいさつ

### （1）学校運営協議会委員長

- ・中学2年生の「救命救急法」の講座で、生徒から「胸骨圧迫で、肋骨が入れたり、折れて刺さったりしたらどうなるのですか」と質問を受け、この質問（疑問を持ってくれたこと）に感激しました。
- ・胸骨圧迫が大変上手な生徒がいて、経験があるかを聞いたところ、「母が看護師で昨日予習をしてきました」と言われ、大変感激しました。

### （2）学校長

- ・学校関係者評価についてご忌憚りの無い意見等をよろしくお願いいたします。

## 2 学校の状況等について

### （1）教務

#### ◆長期欠席生徒等の状況

- ・11月末の長期欠席生徒の割合は、3.6%となっています。
- ・関係生徒は、スクールカウンセラーとつながっている人もいます。自分のできる範囲で登校しています。家庭との連携も進めています。
- ・進路状況では、通信制高校が人気になっています。学校では、様々な選択肢があることを伝えています。

### （2）研修

#### ◆ICT先進校の視察

- ・視察時の写真を基に説明。
- ・先進校の端末を使った授業は、これまでの授業形態と違っていています。いわゆる個別最適な授業形態となっています。このような授業を大木中でも取り組む必要があると考えています。

- ・先進校の授業を研修担当やICT担当がまず実践し、校内で広めていきたい。

【委員】授業ではほとんど端末を使っているのか。(→使い分けをしています。紙での授業も実施されています。端末を使わないで知識を覚える授業も行っています。)

【委員】このような授業は、高校においても実施されているか。高校の授業がかけ離れていると、苦勞する生徒がでるのではなか。(→中学校としても気になるところです。先進的な授業で学力向上ができるのかと言えば、エビデンス(成果の検証)は出ていない状況です。このスタイルは学び方を学ぶといったところが重要です。)

### (3) 生徒指導(山田)

#### ◆2学期の生徒指導の状況

- ・9月にいじめアンケートを実施し、4件認知した。その他にも5件認知しています。それぞれのケースで対応はできていると考えています。
- ・SNSのトラブルや、火遊びなどがありました。

#### ◆「校則の見直し」進捗状況

- ・別添資料を基に説明。
- ・見直し内容は2点。「体育授業後の1限は、体操服で授業をうけることができる」「1年生のリュックは、荷台に取り付けるか、背負うことは個人で判断する」

【委員】サブバックの活用はどうなっているのか。(→土・日の部活に関しては、バックの指定はしていません。部活に応じたバック等を使用しても良いことになっています。現状として子どもたちは学校のバックを使っています。改めて、バックのことを周知します。)

## 3 報告・協議事項

### (1) 学校関係者評価について(協議)

#### ◆学校関係者評価の提出について(1月19日【金】締め切り)

- ・校長から学校関係者評価書や資料について説明。
- ・教頭から「学校アンケート結果」について説明。
- ・生徒アンケートからは、「学校が楽しいが増えている」「先生が困ったときに相談にのってくれるは増えており、高い値となっている」「委員会活動や学校行事に取り組んでいるも増えている」などが良かったところです。
- ・一方で、「読書しているは減っている」と課題となっています。
- ・保護者アンケートからは、「家庭学習の取組について肯定的意見がふえていました」「あいさつができているも増えている」が良かったところです。
- ・一方で「家庭で読書をしているは減っている」となっており、本校だけでなく、市全体での課題となっています。

- 【委員】部活動に参加していない生徒はどんな様子か。(→サッカーや野球などでは、外部のクラブチームに行っている場合があります。しっかりと運動をやりたいと思っている生徒の中に外部へ行く傾向があると思います。学校の部活動に所属していない生徒について調査する必要があると考えています。今年度4月の入学式等では、部活動に所属しないことも選択できることを周知しています。)
- 【委員】端末を使った課題をだしていますか。(→現在はできていません。長期休業中には実施してきました。平日の毎日にはできていない。教科によっても差があります。)
- 【委員】実力テストの結果について市内の状況を伝えてもらうことはできないか。(→公立中学校の市内の概要は担当者間で情報交換していますが、詳しい数字は出されていないので、校内の偏差値を基に対応しています。進路相談については、合格に向けてどのくらいの力があるのかを伝える言葉(表現)が難しいと考えています。)
- 【委員】若松ふれあいクラブで卓球を開催したところ、中学校から9名(最高人数)が参加いただいた。卓球部男子のキャプテンが、マイクをもって司会進行、準備運動など主体的に行ってくれた。小学生の卓球がわからない子たちに、オリジナリティをもって指導をしてくれた。とても良く、感謝しています。地域づくりとして中学生ボランティアをお願いしたいと考えています。9名も来ていただいてとても雰囲気良かった。これからは、中学生ボランティアをもっと要望させてもらいたいと思いました。
- 【委員】地元の中学生在が地元へ尽くすことは、その貢献度が高まります。小学生にとっても年齢の近い中学生から学ぶことが多い。そして、将来の中学生像ができてくると思います。地域行事等に子どもたちが参画し、自分たち自らで考えて取り組むことは良いことだと思います。地域も中学生から学ぶことが多かったのではないかと思います。
- 【委員】地域連携といったところでは、吹奏楽部も地域の行事で演奏を披露しています。
- 【委員】中学生のボランティア活動についてはどうか。(→地域行事に参画させていただいたことは、中学生にとって貴重な機会であったと思います。中学生をお客さんにしない形で、どんどん使っていただくことが大事であると考えます。参画することで地域で役に立っているといった気持ちが育っていくと思います。)
- 【委員】生徒が先生に相談しやすい環境があることが良いと思います。

## (2) 新校舎図書館の地域活用について(報告・協議)

- ◆12月24日(日)図書館開放について
- ◆図書ボランティアの状況について

- ・8名の方に申込みいただき、2名の方に説明をする予定です。
- ・12月24日は、午前4名、午後3名の体制で取り組む予定です。
  - ◆今後の取組方や予定について
- ・今後は、ボランティアの皆さんと協議をして開放を考えていきます。

### (3) 部活動の在り方・地域移行について（報告・協議）

- ◆部活動及び外部指導者等の状況について
- ・地域づくりの会合で周知をしましたが、応募はありませんでした。
- ・ソフトボール部に部活動指導員を配置することができました。
- ・次年度にむけて卓球部で部活動指導員を考えていきたい。
  - ◆次年度の状況
- ・次年度はクラス数が減る可能性がある。そうなれば、一人顧問の部活が増えます。
  - ◆今後の方向性について
- ・次年度中には、具体的に部活動の数を整理する必要がある。
- ・学校運営協議会での具体的に協議を進めていくことが必要であると考えます。

## 4 CS推進コーディネーターより

- ・11月22日の校区合同学校運営協議会では、多数の方が出席され地域での支援にどのようにつなげるかなど熱心に研修を受けていただきました。その後、研修の感想等をみると外国人児童生徒について真剣に考えていただいていることがわかりました。今後も各学校運営協議会で外国人児童生徒の支援について協議をお願いします。
- ・来年度の中学校への方向性が垣間見られました。研修から示された新しい学びのスタイル、初めて見ました。学校関係者評価の中でも、新しい学びのスタイル等についてご意見をお願いします。
- ・中学生の地域貢献について協議できたことは良かった。地元の行事に参画した生徒は自己肯定感が上がったと思います。中学生が参画するボランティア活動を広げてもらいたい。図書館の開放についても中学生の参画を考えていってはどうでしょうか。

## 5 その他

### (1) 次回の第6回学校運営協議会

令和6年2月16日（金） 18時00分～19時00分

会場：大木中学校・会議室1

内容：学校関係者評価、年間総括等